那覇港だより

な　　は　　みなと

２０２６．１１．１３
第 37 号

☆ ☆

目　　次

☆ ☆

１　那覇港管理組合管理者への就任にあたって　・・・１

２　小学生の社会科見学を実施しました！　・・・２

３　ＭＳＣベリッシマ船内で旅客ターミナルビル「クルーズポート那覇着工セレモニー」を開催　～令和 10 年３月の供用開始を目指す！～　・・・３

４　那覇港管理組合議会議員視察報告（苫小牧港、小樽港、金沢港）　・・・５

５　那覇港とぴっくす（那覇港の動き）　・・・８

６　那覇港写真館　・・・９



「クルーズポート那覇」が建設される第２クルーズバース

那覇港管理組合管理者への就任にあたって

那覇港管理組合
管理者　古謝　玄太



那覇港管理組合管理者への就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

私は、去る９月 30 日に沖縄県知事に就任するとともに、同日、沖縄県知事、那覇市長、浦添市長の互選により、那覇港管理組合管理者に就任いたしました。

これまで那覇港の発展にご尽力された歴代管理者をはじめ、関係者の皆様のご努力に対し、心から敬意を表します。

那覇港は、県民生活や産業活動を支える物流の拠点であるとともに、国内外から多くの人々が訪れる交流の玄関口として、沖縄県の経済社会において重要な役割を担っております。

一方、昨今の社会経済情勢や港湾を取り巻く環境は大きく変化しており、港湾施設の老朽化や、物流の効率化、クルーズ需要への対応等、多岐にわたる課題に的確に対応するため、物流・人流の両面から那覇港の機能強化が急務となっております。

物流面では、船舶の大型化や貨物量増加に対応する岸壁・臨港道路の整備など、港湾機能の向上に必要な施設整備を推進するとともに、那覇港総合物流センターを中心とした集貨・創貨を促進し、国際物流拠点としての機能を強化してまいります。

人流面では､去る 10 月２日に第２クルーズバースターミナルビルの着工式が行われました。同ターミナルビルの完成を契機として、寄港地としての魅力を高め、フライ＆クルーズを含む多様なクルーズの展開につなげ、観光振興と地域経済の活性化を図ってまいります。

また、港湾施設の計画的な維持更新や災害への備えを進め、港の安全・安心の確保に努めてまいります。

これらの取組を確実に進めるため、組織団体である沖縄県、那覇市及び浦添市との連携を一層強め、国、港湾関係者等の皆様と力を合わせながら、那覇港のさらなる開発・発展に全力で取り組むことを申し上げ、私の就任の挨拶とします。

小学生の社会科見学を実施しました！

（管理課）

【翔南小学校５年生が那覇港を見学！！】

10 月１日、南風原町立翔南小学校５年生のみなさんが那覇港の見学に訪れました。

当日は、まず那覇港の役割や港湾施設について説明しました。児童のみなさんは、普段何気なく接している食品や生活用品の多くが、港を通って運ばれていることに驚いていました。

那覇クルーズターミナルでは、寄港していたクルーズ船、三井オーシャンフジを間近で見学してもらいました。なかなか近くで見られない大きなクルーズ船を前に、みなさん興味津々の様子でした。



ターミナル屋上からクルーズ船を間近で見学!!



物流センターで説明を受けている様子

【港の物流を支える物流センター！】

続いて新港ふ頭へ移動し、貨物船や上屋の前を通りながら、実際に貨物が運ばれていく様子をバスから見学しました。

那覇港総合物流センターでは、冷凍倉庫・ドライ倉庫の中を見学しました。冷凍倉庫内は－20℃に保たれており、児童のみなさんは「寒い！」と声を上げながらも、目を輝かせて内部を見学していました。身の回りの食品や日用品が、丁寧な品質管理のもとで食卓やお店まで届けられていることを実感できたようでした。

【海外とつながるコンテナターミナル！】

さらに那覇国際コンテナターミナルに入り、コンテナの積み降ろしを行うガントリークレーンや、温度管理が必要な荷物を運ぶ冷凍コンテナについて説明しました。当日はガントリークレーンの作業は行われていませんでしたが、その大きさを間近で見ながら、どのようにコンテナを船へ積み降ろしするのかを紹介しました。また、外国から来た大きな貨物船が停泊する様子も見学し、海外からもさまざまな荷物が那覇港に運ばれていることを学んでもらいました。



外航船とガントリークレーン（那覇国際コンテナターミナル）

今回の見学では、クルーズ船や貨物船、冷凍倉庫、コンテナターミナルなど、普段なかなか見ることのできない港の施設や設備を実際に見てもらいました。児童のみなさんには、港が海外や県外からさまざまな物資を受け入れ、私たちの暮らしを支えていることを、実際の船や施設を通して感じてもらえたと思います。

見学をきっかけに、次代を担う子どもたちが、那覇港の役割や、クルーズ船・貨物船、物流などに興味を持ち、那覇港をより身近に感じてもらえれば幸いです。

MSC ベリッシマ船内で旅客ターミナルビル「クルーズポート那覇 着工セレモニー」を開催
～ 令和 10 年３月の供用開始を目指す！ ～

（みなと振興課）



令和８年 10 月２日（金）、那覇港第２クルーズバースに寄港中の「MSC ベリッシマ(総トン数 171,598 トン、乗客定員 5,655 人)」船内において、旅客ターミナルビル「クルーズポート那覇」の着工セレモニーが盛大に開催されました。当日は、主催者である MSC クルーズ社（MSC）、ロイヤル・カリビアン・クルーズ社（RCG）をはじめ、港湾、行政関係者ら約 200 名が出席し、沖縄の新たなゲートウェイとなるプロジェクトの本格始動を祝いました。

■ 官民連携による国際クルーズ拠点の形成

那覇港では、港湾法に基づく「国際旅客船拠点形成港湾」として、官民連携による国際クルーズ拠点の形成に取り組んでおり、令和８年１月に「那覇港国際旅客船拠点形成計画」を策定しました。同計画に基づくターミナルビルの整備、運営は、連携船社である MSC クルーズ社（MSC）及びロイヤル・カリビアン・クルーズ社（RCG）の各子会社が設立した合弁会社「クルーズポート那覇合同会社」が担い、那覇港管理組合は、同年８月 28 日に同社と形成協定書を締結しました。

■ 「世界と沖縄をつなぐゲートウェイ」へ

式典では、主催者である MSC 及び RCG の代表から、新ターミナルビルが「世界と沖縄をつなぐゲートウェイとしての期待」や「沖縄がアジアを代表するクルーズ船の寄港地として発展することを目指す決意」が示されました。

また、来賓として、那覇港管理組合 古謝玄太 管理者、内閣府 今井絵理子 副大臣、国土交通省 安部賢 港湾局長が登壇し、官民が一体となった本事業の重要性や、沖縄観光のさらなる飛躍に向けた祝辞を述べました。

セレモニーの終盤には、施設名称が「クルーズポート那覇」に決定したことが発表され、会場に映し出された美しい完成イメージを背景に、来賓一同による記念撮影が行われ、華やかな雰囲気のなかで式典は幕を閉じました。



■ **令和 10 年３月の完成を目指して**

「クルーズポート那覇」は、令和 10 年３月の完成及び供用開始を目指して、今後本格的な建設工事が進められます。

本施設の整備により、世界最大級のクルーズ船の受け入れと円滑かつ快適な旅客の移動環境の提供が可能となります。

那覇港管理組合では、今後も官民連携による寄港促進と受入体制の強化を進め、沖縄県の観光振興及び地域経済の持続的な活性化に大きく貢献できるよう、全力で取り組んでまいります。

那覇港管理組合議会議員視察報告（苫小牧港、小樽港、金沢港）

（議会事務局）

那覇港管理組合議会（仲村家治 議長）は、令和８年７月 29 日から 31 日までの日程で、北海道苫小牧港、北海道小樽港、石川県金沢港の港湾施設を視察しました。

（１）７月 29 日 苫小牧港（苫小牧港管理組合）

苫小牧港は昭和 38 年４月 25 日に開港し、今年で 64 年目を迎えます。昭和 40 年７月には、北海道と苫小牧市によって苫小牧港管理組合が設立されました。

同港は、日本各地、世界約 30 カ国と結ばれ、太平洋に面した北日本最大のゲートウェイとして、北海道における取扱貨物量の 50%以上を取り扱っており、港湾取扱貨物量（内貿）は、平成 13 年より令和６年まで連続して国内第１位となっています。また、昭和 50 年から独自にプロパー職員を採用しており、専門的かつ継続的な管理が行われています。

議員からは、プロパー職員配置のメリット・デメリットのほか、維持管理費の確保や施設の長寿命化への工夫、苫小牧港港湾脱炭素化推進計画、再生可能エネルギー等に関する質疑応答がありました。



苫小牧港管理組合ビル最上階の津波一時避難施設にて集合写真



苫小牧港管理組合ビル最上階から本港地区を視察



苫小牧港管理組合との意見交換

（２） ７月 30 日 小樽港（小樽市）

三方を山に囲まれた「天然の良港」である小樽港は、明治 32 年に開港し、今年で 128 年目を迎えます。明治から大正にかけて北海道開拓の玄関口として人とモノが行き交った歴史があり、令和８年１月 15 日には小樽港防波堤施設が国の重要文化財（建造物）に指定されています。

令和６年には小樽第３号ふ頭に「飛んでクルーズ北海道」ツアーをはじめとするクルーズ船接岸対応岸壁を整備し、今年のクルーズ船寄港数は 19 回を予定しています。

また、令和８年３月には北海道で初めての「みなと緑地 PPP」に認定され、小樽港第３号ふ頭緑地において、官民連携により、みなとの賑わい空間を創出しています。

同港では、令和５年完成の小樽港クルーズターミナルのほか、令和７年８月にオープンした小樽港観光船ターミナルや令和８年完成のおたるポートスクエアを視察し、賑わい空間の創出を体感しました。



小樽港クルーズターミナルにて集合写真



小樽港クルーズターミナル前岸壁（第３号ふ頭）



小樽港観光船ターミナルでの視察の様子

（３）７月 31 日　金沢港（石川県）

江戸時代に北前船の寄港地として栄えた金沢港は、昭和 38 年の三八豪雪により海上輸送の重要性が再認識されたことから、昭和 45 年に開港されました。

建設機械・産業機械を主に取り扱う物流関連ゾーン、エネルギーを取り扱うエネルギー関連ゾーン、工業団地が形成されている産業関連ゾーンがあるほか、令和２年６月には金沢港クルーズターミナル（愛称：ひゃくまんごくマリンテラス）がオープンし、交流拠点ゾーンの整備が進められています。

金沢港クルーズターミナルがある無量寺ふ頭は、一部が耐震強化岸壁として整備されていたため、令和６年１月の能登半島地震の際は、金沢港を起点とした海上からの支援物資輸送が行われ、復興支援に寄与しました。

同港では、クルーズ船の誘致も活発に行われており、今年の寄港数は過去最高の 65 回を予定しています。クルーズ船が寄港しないときには、クルーズターミナル１階待合エリアにおいて、地域のコミュニティによるイベントが開催されています。視察当日も“シュミコレマルシェ”が開催されており、議員からも年間を通したターミナルの活用等について多くの質問がなされるとともに、賑わい創出拠点として市民が活発に交流している様子を視察しました。



金沢港クルーズターミナルにて集合写真



金沢港クルーズターミナル１階待合エリアの活用（視察当日）



金沢港クルーズターミナル前岸壁（無量寺ふ頭）の活用（視察当日）

那覇港とぴっくす

7/19(日)

クルーズフェスティバル東京2026



•東京国際フォーラムで開催された「クルーズフェスティバル東京2026」に出展し、那覇港を発着するフライ＆クルーズ等の魅力をPRしました。

•クルーズプラネット社が主催する同イベントには、クルーズ船社や港湾関係機関が一堂に集結し、約40のブース出展がありました。著名人によるトークイベントなど多彩な企画で会場は大いに賑わい、那覇港ブースもパンフレットがなくなるほどの盛況となりました。今後もクルーズ業界の活性化と那覇港の利用促進に取り組んでまいります。

8/24(月)

コスタ･セレーナ号　感謝のセレモニー

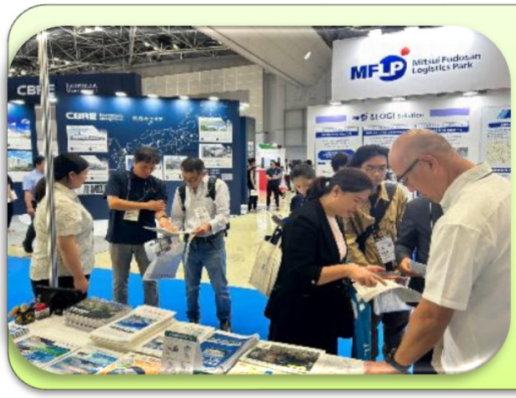


•イタリア船籍のコスタ･セレーナ号が最後の寄港をしました。2015年４月の初寄港以来、那覇港に143回寄港した同船は、那覇市の人口を上回る約40万人の観光客を送客してくれましたが、残念ながら今年でアジア配船を終了し、その後は南米や地中海方面へ配船される予定です。

•この最後の寄港を惜しんで、那覇港寄港感謝のセレモニーが那覇クルーズターミナルで開かれました。コスタクルーズ社の船が再び那覇港へ戻って来ることを期待したいと思います！！

9/8(火)～11(金)

国際物流総合展2026



•東京ビッグサイトで開催された「国際物流総合展2026」に、那覇港振興協議会（対応：那覇港管理組合・那覇国際コンテナターミナル（株）・（株）那覇港総合物流センター）が初出展し、那覇港の利用促進に向け、「那覇港輸送効率化支援事業」等の支援制度、航路情報、コンテナターミナルや物流センター等の港湾施設などをPRしました。

•ブースには多くの物流関係者が訪れ、大口の荷主等これまで接触機会のなかった様々な県外企業と活発に意見交換を行い、大変有意義な出展となりました。

9/24(木)～27(日)

ツーリズムEXPOジャパン2026



•東京ビッグサイトで開催された国内最大級の観光業界展示会「ツーリズムEXPOジャパン2026」に沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）と共同で出展しました。

•旅行会社等の業界関係者と那覇港へのクルーズ寄港促進に向けた意見交換を行うとともに、一般来場者には那覇港発着のフライ＆クルーズや、OCVBと連携して寄港地観光の魅力をPRし、那覇港を起点としたクルーズ旅行の認知度向上と沖縄観光の魅力発信に取り組みました。

那覇港写真館

コスタ・セレーナ号 感謝のセレモニー







＊＊＊＊那覇港だよりに関するお問い合わせやご意見、情報の送り先＊＊＊＊

那覇港管理組合　総務部　総務課
〒900-0035　那覇市通堂町２番１号
TEL:098-868-2578　FAX:098-868-2629
e-mail: kumiai@nahaport.jp

Naha Port Authority

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊